

マレーシアのタベ in 岩倉

前回のCOM60号で、中学生海外派遣事業の報告を掲載しましたが、そのマレーシアから今年も観光使節団らがお出でになりました。彼らは岩倉市の中学生がお世話になったSMKメンタカブ校の学生、教師ら15人とマレーシア観光をPRする使節団らで、総勢52人です。

一行は岩倉に11月27日から30日まで滞在し、学生、教師らはマレーシアを訪問した中学生らの自宅にホームステイし、中学校での授業を体験したり、ホストと近隣の観光地を訪れたりしました。観光PRの使節団は、最後の30日にはお祭り広場でのイルミネーション点灯式で素敵なマレーシア舞踊を披露してくれました。

点灯式が行われた日の夕方は、とても寒くなりましたが、ダンサーたちは、常夏のマレーシアの衣装で(裸同然の人も)最後まで頑張って踊り、記念撮影にも笑顔を振りまいてくれました。



希望の家でホスト、ゲスト、ダンサーたちが一緒になって記念撮影

総会開催のご案内

平成21年度の岩倉市国際交流協会の通常総会を下記のとおり行います。ぜひ皆さんご参加ください。

とき 4月12日(日)午後1:30~

ところ 岩倉市地域交流センターくすのきの家(第一児童館)

ECG贈呈の旅 顛末記 ～人に会う旅・番外編～

昨年の秋、フィリピンから一通のEメールが届きました。送り主は、ボトン。メールには「フロリダブランカでは心臓病で亡くなる人が増えています。心電図測定器（ECG）があれば、検診ができるようになります。中古の物でもいいから、ありませんか？」とありました。（1年前に亡くなったタイクスも心臓麻痺でした。）早速、いろいろと伝^{つて}を頼ってECGの費用や配送のことを調べてみましたが、高価なこと、精密機械の配送はかなり難しいことがわかりました。そこで、再度、フィリピンでの購入費用を尋ねてみると、4万ペソ（日本円で9～10万円）ぐらいとのこと。であれば、協会で寄付を募ることとし、それを現地でのECG購入の費用としてもらうことにしよう、どんな機器かも見てこよう、タイクスのお墓参りも兼ねて…。ということで、2008年12月28日早朝、セントレアに集合した3人（古田、三浦、山田）の3日間を報告します。

○初日：2008年12月28日（日）

フィリピン航空PR437便は、ほぼ定刻どおりにマニラ空港に到着。ボトン、ジェク、ロニーの懐かしい顔に会う。相変わらず混雑したマニラ市街を冷房の効いた車で通り抜け、今回の打合せをしながら、一路フロリダブランカ・グタへ向かう。

グタには明るいうちに着き、古田さんはロニー宅、三浦先生はグレン宅、山田はジェク宅にホームステイすることに。山田は早速、冷たいサンミゲールをいただく。その後グタの通りをブラブラしていると、後ろから「ヤマダサ～ン」の声。振り返ると、赤いトライスクルに乗ったエドウィンだった。お互い、娘のことなどを近況報告。夜は、それぞれホストと共に過ごす。

*山田は、この夜、これまで毎回お世話になってたマノトさん家へ。私たちが来ていることを知らなかったパパとママは、突然の訪問に、ビックリ！なんせ、最初は、名乗って呼びかけても、家から出てきてくれなかった。

○中日：29日（月）

明け方、やっぱり鶏の鳴き声で目が覚める。少し涼しいくらい。今日は、市役所で市長さんと面会の予定。市役所へ行ったら、庁舎はリニューアルされていた。ピンクの外装、中も塗り替えられ、市長室も前の2倍ぐらい広がってる。

ECGの現物を確認し、いろんな人が秘書室を出入りするのを見ながら、しばらくの間市長を待つ。ようやく市長が到着し、ECG贈呈の記念写真も撮って、「今回の任務、一つ終了！」と思ったら、明日の市役所の朝礼で贈呈式を行うとのこと（…また任務が増えた）。その後、タイクスのお墓参り。通りには、大晦日に打ち上げる花火を売っている屋台がいっぱい。



フロリダブランカ市長に ECG を贈呈

○最終日：30日（月）

8時に市役所へ。予定よりかなり遅れて、市役所前の屋根付きの広場で朝礼が始まる。ステージ上に、市長はじめ9人の市の幹部が登壇。ステージの前には市の職員、400人ぐらいがバラバラの列を作って並んでいる。

フィリピン国家斉唱の後すぐ、三浦先生と山田がECGを持ってステージに上がる。簡単に今回



フロリダブランカ市役所朝礼でのあいさつ

帰りは、大渋滞のマニラ市街を通り抜け、フィリピン航空 PR438 便に搭乗（機内は空いていた。まあ、30日に帰る人たちはいないだろうなあ）。予定より30分程早くセントレアに到着。

「ECGがあれば、フィリピンの人たちの健康を守れる」というボトンからのメールが届いたという話を聞いたとき、真っ先に思ったのが、2007年クリスマスの夜半に心臓麻痺で亡くなったタイクスのことでした。「人に会う旅」でも毎回ホストとして、また訪問団の世話もしてくれ、協会にとってはとても身近な人でした。今回のECGが、一人でも多くの私たちの身近な人の命を救ってくれることを願っています。

最後に、多くの皆様からECG購入のための募金を寄せていただきました。心から感謝申し上げます。（文：山田日出雄）



タイクスのお墓参り

ECG贈呈チャリティ ～世界のお正月料理～

1月18日(日)希望の家でフィリピン・フロリダブランカへECG贈呈資金調達のためのチャリティ、「世界のお正月料理」を開催しました。イラン、韓国、中国、フィリピン、日本の5か国のお正月料理を振舞うランチバイキングイベントで、外国人スタッフやボランティア、協会のメンバーが協力し



あい、料理を作りました。参加していただいた人々や子どもたちから、「おいしい」「おかわり」の声が聞けて、うれしかったです。おかげさまで55人の参加者がありました。

当日の会費26,700円、募金額27,006円に加え、口座の振込等で2月18日までに24,000円が集まり、総額77,706円になりました。みなさん、本当にありがとうございました。目標額までにはまだ少し不足していますので3月31日まで振り込み、持参をお待ちしています。

日本語教室の学習者が急増！

「日本語ひろば岩倉」が発足して4年半。毎週水曜日、公民館で外国人への日本語支援を行っています。1月には、初めて手作りの新年会を開きました。カルタ取りや福笑い、「幸せなら手をたたこう」の歌を歌ったりと、大いに盛り上がりました。2月には、節分の豆を配り、スタッフが、豆を投げられて退散する鬼の役をやって見せました。みんな楽しそうでしたが、果たして「鬼は外」の意味は伝わったのでしょうか…？

現在、ボランティアスタッフは6人。学習者は、昨年末までは平均6人ほどだったのが、1月には15人前後に。さらに2月に一気に40人近くにまでになり、教室に入り切らないほどの人を前に、スタッフ一同驚くやら戸惑うやら、それはもう大変でした。国別では、ブラジル人が25人ほどと圧倒的に多く、次いでフィリピン人が9人、他にベトナム、スリランカ、ペルー、ボリビアの人がいます。ひらがな・カタカナ・漢字の読み書きや日常会話、日本語能力試験に向けての勉強など、学習内容も日本語のレベルも様々です。

「学習者もスタッフも楽しく！」をモットーに、学習者がそれぞれ必要とする日本語を習得できるよう、スタッフ一同頑張っています。日本語支援に興味のある人は、ぜひ一度、気軽に教室を覗いてみてください。



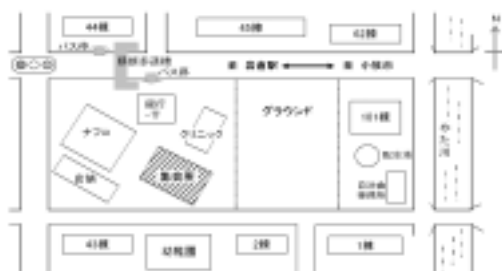
新年会でのカルタ取り

平成21年外国人無料健康相談会

岩倉市国際交流協会では、健康や体調に不安を持ちながらも言葉や費用のことが気がかりで日ごろ医療機関にかかれぬ外国人のための無料健康相談会を今年も開催します。外国人であれば、外国人登録の有無、健康保険加入の有無を問いません。相談はボランティアの医師、看護師、保健師、通訳などで行い、秘密は守ります。知り合いに外国人のいる人はぜひお伝えください。

- ▼と き 3月29日(日) 午後2時～4時 ▼対 象 外国人
- ▼と ころ 岩倉団地集会所(東新町釜之口1-1) ▼費 用 無料
- ▼内 容 身体測定・検尿・血圧測定・胸部レントゲン撮影・歯科医師及び医師による相談
- ▼問合先 お近くの国際交流協会理事又は外国人医療センター

TEL 052-588-7040 火・木・土曜日午後1時～5時



FREE HEALTH CONSULTATION FOR FOREIGNERS
CONSULTA GRATUITA SOBRE
A SAÚDE AOS ESTRANGEIROS
3/29 (Sun / Domingo / 日) 14:00 ~ 16:00
< Sponsor >
MEDICAL INFORMATION CENTER AICHI (MICA)
Iwakura International Exchange Society

会報 COM第61号 (2009年3月1日) 事務局 〒482-0021 岩倉市新柳町3-21-2 (内藤方)
発行 岩倉市国際交流協会 TEL・FAX 0587-66-7347
印刷 大橋印刷 http://www.iies.info/